

第9号

きずな

出会う おれあひ 語りあひ
「幸せ」生まれる地域の絆

平成26年
9月1日発行

岡田小学校区
地区社会福祉協議会

岡田小学校区地区社会福祉協議会

初めての報告大会を開催しました！！

平成26年7月5日(土)、岡田小地区社協第1回報告大会を牛久運動公園体育館サブアリーナにて行いました。今にも降り出しそうな曇天のなか、多くの皆さんに参加いただきました。昨年3月2日の地区社協発足以来、試行錯誤を重ねながら行ってきた活動実績と、それらを受けて決定された今年度の活動計画が報告されました。本号では、その内容の内、特に活動計画にスポットをあてて紹介いたします。



次年度に向けての7項目の活動計画が初年度の成果 これを着実に実現していきましょう

岡田小地区社協会長 鈴木 朗

岡田小地区社協が発足して1年4ヶ月、ようやく報告大会を開くところまでこぎ着けることが出来ました。この間に我々が行った活動は(1)すまいるサポーターの組織化(2)見守り体制づくり勉強会の開催(3)すまいるサポーター全体会合の開催(4)広報「きずな」1-8号の発行だけですが、その中身は濃く、非常に成果があったと考えています。



最大の成果は、岡田小地区社協の存在価値が見えてきたことです。数年前、地区社協設立が提案されたころは、理念としては分かって、具体的に何をするのか、何が出来るのか、よく見えないままのスタートでした。

しかし、実際にスタートしてみると、独居高齢者の見守りは、住民(行政区)、民生委員、行政が一体となった体制の確立が、まさに眼前の課題であるという問題意識が、みなさんの間でごく自然に共有され、すまいるサポーターの全体会合より先に、見守り体制づくり勉強会を先行させるという動きに結びつきました。

岡田小地区社協設立初年度の活動の具体的な成果は、平成26年度の活動計画として、後でご説明させていただく7項目を決定することが出来たことです。これはまだ中身が実現したわけではありませんが、岡田小学校校区のみなさんが「とにかく今年度はこれだけのことをしよう」と合意出来ただけでも大変なことです。

その中でも「見守り台帳に基づく1対1見守り体制の確立」に合意できたことは大きな成果です。住民や区長が「みなさん見守り体制を作りましょう」といってもなかなか賛同を得られないことが多い。区

平成25年度の活動実績報告要旨

1 すまいるサポーターの組織化

下根ヶ丘 井出 文彦氏



岡田小学校区の地域ボランティアが行政区の枠を超えてつながる仕組みが、やっとできました。現在196名の方々にご賛同をいただいておりますが、皆さん、これからもよろしくお願ひします。

2 見守り勉強会の開催

上太田 尾上 容子氏

茨城県立医療大学講師秦靖枝先生をはじめとする講師の先生方からご教示いただき、確認し

たことは「1対1の見守り体制の必要性」でした。私たちも具体的な「見守り」の方法をイメージしやすくなったのではないのでしょうか。



◇◇発表者の言葉から◇◇

松ヶ丘 森 孝雄氏

「見守り」という言葉は、実は辞書に載っていません。しかし、「みまもり」とま行の文字が3つも入っていて、温かい語感の言葉です。これから、私たちが温かい未来へバトンを繋げていくのだという、予感のような言霊を持った言葉に思えます。



3 すまいるサポーター全体会合での意見交換

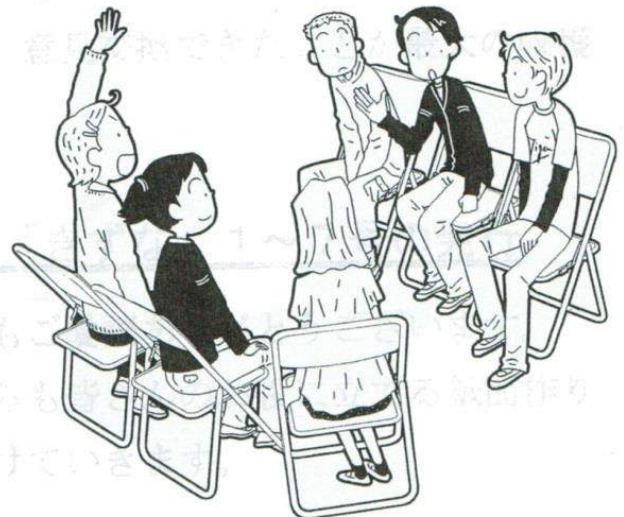
東岡見 三村 武教氏

市内の先行地区社協の活動事例を勉強したうえで、6つの分科会で話し合うことができました。すまいるサポーターの初顔合わせも兼ねていましたので、皆さんと膝を突き合わせて、意見交換できたことが最大の収穫でした。

4 広報「きずな」の発行

栄町 宮崎 敏明氏

いつもご愛読ありがとうございます。「きずな」は毎回4,300部を発行しています。これからも皆さんのお役に立てる紙面作りを心掛けていきます。



すまいるサポーター全体会合 6分科会報告要旨

第1分科会

栄町 井寺清人氏

1対1の見守り体制を作るには見守り対象者とその支援協力者を特定していく作業が不可欠です。見守りには、温かく、さりげなく冷静に、がポイントです。

第2分科会

栄町 宮崎敏明氏

見守り対象者にイベントに参加してもらうには、参加を呼びかけるのはもちろんですが、楽しめる場作り、イベント作りを工夫しなければなりません。また、参加してみたら楽しいとわかってもらえるまで、辛抱強く時間をかけて進めていくことです。

第3分科会

松ヶ丘 鈴木朗氏

地域と学校の連携は、両者が本気で取り組まなくては実現しないものです。幸い、岡田小も牛久一中も住民の声に耳を傾けてくれます。私たちもそれに応えて、学校をよく知ることから始めましょう。

第4分科会

上柏田 鶴長文正氏

交通支援を行うには、車やドライバーの確保、現地での見守り、事故対応のほか、ニーズの把握など考えるべき課題は多い。牛久二小地区社協の事例を研究してみる必要もあります。

第5分科会

上柏田 伊藤光美氏

子育て支援を進めるには、子育てサロンやサポートなどの支援情報を若いママたちが利用しやすいように発信してあげる必要がある。サポート内容や時間帯は、利用者と支援者の擦り合わせで出来ることは増えるでしょう。

第6分科会

三浦氏

岡田小学校区全体として住民交流をどのように進めていくか。行政区にも個性があり、住民間にも活動に対する温度差があります。「場づくり」も活動情報を知ってもらうことも大事です。時間をかけてじっくり取り組みましょう。

